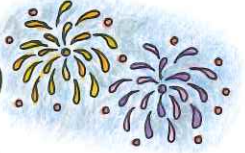


大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

大川原の夜空を  
彩りました

# がしゃもり花火



こんにちは👋今年予定されていた夏祭りがコロナのため中止となり、打ち上げる予定だった花火は代替イベント「がしゃもり花火」として日程を変更して開催されました！

打ち上げ場所となった頭森(がしらもり)公園を地元の人々は「がしゃもり」と呼んでいたそうです



佐藤



「きれい〜!! 秋の花火もいっわね〇」  
食事と花火を楽しむ公営住宅の方たち〇間隔をとって密を回避!



花火は商業施設から見る事ができ、食事に来ていた方もテラス席で鑑賞♪  
改めて町内でできるイベントはいいなと思いました。交流施設と宿泊温泉施設も完成し、いよいよグランドオープンとなった交流ゾーン。ここで色々なイベントを開催してほしいですね。

交流ゾーンは改めて別号にて紹介したいと思います!!

## 交流ゾーンで思いがけない発見がありました

花火を待つ間にあたりを散策していると気になる電灯を見つけました。よく見てみると携帯電話の充電器が備え付けられています。思わず「便利〜!」と、感動の声をあげてしまいました。これは来てみないとわからない発見。他にも驚きの発見があるかも!?

電灯には「CITY CHARGE」と「BLACKSOLAR」という表示が



「どうやら太陽光発電のようです」



「四つ並んだ箱を開けてみると…」



「これは助かる〜!!」

「どの機種にも対応した携帯電話の充電器が!!」

# 大熊のいちご 広がってます!!

大熊町の新しい特産品いちご  
色々な形でのご活用が広がっています!!



10/8、「道の駅なみえ」のイベントで相馬農業高校の生徒さんが、大熊産いちごを使った「しあわせいちごパン」を販売していました。生徒のみなさんが、南相馬市のパン屋さんと協力してつくった甘いパン。イベントブースの中でもひときり盛り上がり、売れ残りのかわりま。



ジャム、ドライフルーツ、ゼリーなどは、県内業者と開発し、メイド・イン・福島にこだわっています。ネクサスファームの直売や町の商業施設内のヤマザキショップなどで販売中。パンも継続販売を検討中とか。町のおみやげが増えるの、うれしいです。



大熊産いちご果汁を20%使用! いちごでこの比率のこんにやくゼリーは珍しいですよ!

ジャムのふたには「故郷を想う大切な方々に」のメッセージ。



## ふるさと納税の返礼品にも

大熊町はふるさと納税の返礼品を再開しました。返礼品の再開は震災後初めてです。

ふるさと納税の詳細については、こちらのQRコードから、せひ町のホームページでご確認ください。

